

市政を聞く 一般質問

3月定例会の一般質問は、8日、9日の両日行われ、10名の議員が市政各般にわたり、一般質問を行いました。

一般質問の原稿は、各発言議員が作成しています。

一般質問発言通告一覧表

(平成19年第2回3月小浜市議会定例会)

通告者	発言の内容
風呂 繁昭	1.財政、産業、教育について
池尾 正彦	1.遠敷小学校の移転建設について 2.地域包括支援センターの運営状況について 3.学校給食費未納者への対策について
上野 精一	1.山林の保全策について 2.食育について 3.ごみ行政について 4.特定失踪者の真相究明について
藤田 善平	1.行政課題を問う
垣本 正直	1.広域交通体系の整備について 2.少子化対策と青少年の健全育成について
井上 万治郎	1.温泉開発計画推進事業を問う 2.朝市グループの育成について問う
下中 雅之	1.防災対策について 2.清掃センター解体のスケジュールについて 3.保育園の統廃合・民営化について
三木 尚	1.雇用確保のための企業誘致について 2.杉田玄白記念公立小浜病院について 3.高速通信網の整備について
池田 英之	1.平成19年度施策の進め方について 2.世界遺産暫定リストについて
宮崎 治宇蔵	1.中心市街地の活性化について 2.税源移譲と定率減税廃止による影響について 3.職員の定員管理について



風呂 繁昭 議員

財政・産業・教育について

問① 行財政改革の中、食のまちづくりの関連

事業には厚く配分したように見受けられるが、地域活性化を図るための中心市街地活性化、産業振興を図るための予算措置は。

答 徹底した事業の見直しをし、必要性、公

問② 中心市街地活性化事業の計画を実効性のあるものに、また企業進出と地元企業振興育成を。

益性、緊急性を勘案し幅広い視点から予算編成をした。

答 市民や有識者でつくる策定委員会を設置し、基本計画を策定する研究開発製造機能の向上を予定し、制度を積極的に利用促進する。

問③ 昭和47年の第一次総合計画記載の統廃合問題について、少子化が進み学校の適正な規模を確保する

ためには統廃合は避けて通れない。小浜小学校は統廃合の始まりであるか。

問④ 校区と地区のねじれは。

答 認識している。

校区と地区は同一であり、子ども会活動は地区を中心に、学校へ協力指導をする。



池尾 正彦 議員

1 遠敷小学校の移転建設について

問① 市長の考えを問う。

答 現在建設を進めている小浜小学校の次は、遠敷小学校を考えている。またその用地については、地域の方々のご要望が強い竜前地区の用地を建設予定地として

考えている。

問② 建設準備に取り掛かる時期について。

答 小浜小学校完成後の早い時期に、教育委員会と地元遠敷地区の人々によって検討委員会を立ち上げてはどうかと思う。

2 地域包括支援センターの運営について

問① 小浜市直営の姿勢は変わらないのか。

答 当面、市直営で運営していく考えである。今後、民間委託する前提条件としては、公平性・中立性が確保されることが重要である。



上野 精一 議員

問① 中小河川の急激な増水や有害獣の里への侵入は里山の荒廃が起因しているが今後の里山保全策はどうか。

答 近年の集中豪雨は局所的に短時間に激しい雨が降るため、地下浸透の時間が無い事と、山林の荒廃

等で保水力が低下していることが考えられる。今後は山林管理の補助事業の取組みや関係機関との連携し地域ぐるみの森林施策により里山の整備に取組む。

問② 学校給食における米飯給食の現状と今後の完全米飯給食の考え方は。

答 学校給食は16校全て各学校で調理する単独調理方式であり米飯の実施状況は、自校炊飯での学校は週3回が7校、週4回が2校、委託炊飯の小学校5校と中学校2校は3回であり、残りの日はパンでの給食である。学校給食の意義を踏まえながら、今後進める食育推進計画策定の中で前向きに検討する。



藤田 善平 議員

問① 農業振興策を問う。

答 野生鳥獣の積極的な駆除を実施する。吠えて野生鳥獣を追い払う訓練犬など研究する。農地、水、環境保全向上活動支援事業の活用と8地区以外のリーダー育成にも取り組む。「達年」た

つねん」と呼ばれる高齢者の農業支援をする。

問② まちづくり振興策を問う。

答 観光交流人口とは入込客の延べ人員を積算した数。魅力ある中心市街地に取り組む。体験型施設を利用して食グルメ民宿などとして積極的に支援する。

問③ 道路環境の向上を問う。

答 北川の右岸堤防の代替生活道路として整備する。

問④ 小浜城周辺整備を問う。

答 復元ビジョン策定に取り組み、それを基に市民のコンセンサスを得ていきたい。

問⑤ 在宅介護支援を問う。

答 在宅で若年の寝たきりの人、複数の寝たきり等の老人を介護しておられる世帯の家族支援などを検討する。



垣本 正直 議員

問① 市街周辺道路の整備と土地利用計画について。

答 小浜インターの完成と具体的な土地の需要動向を見極めて土地利用および道路の整備に関する計画をしていきたい。

問② 小浜線の利用促進について。

答 県と嶺南自治体が一体となって、効率的なダイヤ編成や増便快速電車の運行等について粘り強く要望していく。

問③ JRバス若江線の利便性の向上を図るべきである。

答 湖西地域と若狭地域を繋ぐ唯一の重要な交通機関で当路線の利用者の増大は、琵琶湖若狭湾快速鉄道実現に向け極めて重要な布石になる、利便性の向上と利用促進に努力する。

問④ 青少年の健全育成のために、全小学校に

放課後児童クラブの開設がでないか。

答 平成19年度から「放課後児童クラブ」を実施する。教育委員会と福祉部局が連携し全学区において開設出来るようにしていきたいと考える。



井上 万治郎 議員

問① 温泉開発計画推進事業を問う。

答 温泉は市民にとって憩いの場や健康・癒しの場で、観光地にとって最も大きな魅力で滞在型観光を進めていく上で必要不可欠である、検討委員会は各界・各層の代表者で構成し、広く市民の総意や意見集約を図っていきたい。平成11年度に谷田部地係で平成14年度に15箇所ポイントで専門業者に委託し電磁波による地中探査や周辺地表の土質調査の結果、「湯脈が存在する可能性がある」ことがわかった。こうした調査資料は十分生かし個々具体的な内容について検討していただきたい。

問② 朝市グループの育成について問う。

答 各地区の伝統ある特産物を掘り起こしブランド化を図っては、地産地消、食の安全・安心に取り組む生産者に対し、先進地視察や交流活動への積極的な支援を。市内の空き店舗を活用した農産物等の直売活動を支援していただきたい。



下中 雅之 議員

問① 災害時において市民への情報伝達は最重要である。その取り組みの一つとして携帯電話へのメール配信システムの導入について伺う。

答 先進地の実情や導入費用、その後の維持経費、その他防災無線など情報機器の整備の問題と併せて検討したい。

問② 清掃センター解体のスケジュールを問う。

答 今後の計画としてはリサイクルプラザ等の建設工事完成後の平成20年度に基金を投入して解体に着

手したい。

問③ 今富第一・第二保育園の統廃合および民営化後のスケジュールはどのように考えているのか。

答

小浜市の人口動態、まちづくり、環境等の動向を踏まえながら目標数として8園程度に取り組み、小浜幼稚園、小浜第一保育園の一元化についても統廃合を含めて取り組みを考えていき、今富保育園の整備後についても提言や計画また学校の統廃合等の動向も視野に入れて推進することとしたい。



三木 尚 議員

問① 企業誘致の取り組み状況について。補助金の限度額は。市役所、消防署、小浜病院の採用に際し、高卒枠を確保せよ。食品関連産業の誘致は。

答

現在各種の活動により200名超の新規雇用が見込まれる。補助金の合計は13億5千万円、電気料金は8年間半額。

問②

杉田玄白記念公立小浜病院と改称するが活性化につなげられないか。記念行事や資料館、記念商品の開発は。関西電力が嶺南の医師不足解消のため、奨学金制度を設けたが強く宣伝すべき。

答

杉田玄白賞の式典等を活用、中川順庵とともに顕彰祭を計画中。

問③

高速通信網の整備状況は。市内の未整備地域にどう対応するのか。配線済みのチャンネルの施設を利用してはどうか。

答

市全体の約1割がブロードバンドの利用ができない。チャンネルの施設利用を検討したい。



池田 英之 議員

問①

平成19年度施策の進め方について、食のまちづくり推進のための数値目標を設定してはどうか。

答

平成19年度に策定の食育推進基本計画には、朝食の欠食率の減少等、可能なものについては、明確

な数値目標を定めることとして加にかかる経済波及効果目標の設定については、食のまちづくりの一層の推進に資するよう、今後、様々な分野で検討していきたい。

問②

世界遺産暫定リストの登録について、今後は、レベルアップをするためには、何に力を入れていかなければならないか。

答

本市がめざす世界遺産の主要なテーマは神仏習合であり、今後は世界的な観点から見て、小浜の神仏習合の普遍的価値を裏付けて、今年秋の国文化審議会に向けて、提案書を練り直したい。



宮崎 治宇蔵 議員

問①

中心市街地の活性化について。

答

改正中心市街地活性化法は商業機能だけでなく公共施設を始め、居住、福祉、健康、教育文化、観光交流などの都市機能を集積し魅力あるコンパクトシティを形成することを目的としている。

問②

税源移譲と定率減税廃止による影響について。

答

市民負担については、所得割課税者1万3,500人に影響があり、平均で4,300円の増となる。夫婦と子ども2人、給与収入年額500万円のモデルケースで見ると、1万7,600円の増額となる。

問③

職員の定員管理について。

答

採用については、毎年度一定の採用をすることで、バランスのとれた年齢構成を目指したい。男女共同参画推進の観点から女性の課長補佐への昇任を拡大したい。

◆ご意見・ご要望をお寄せください。

庁内LANの稼働により、皆様の市議会に対するご意見・ご質問・ご要望等を議会事務局宛てのメールでお受けすることができました。メールアドレスは下記のとおりです。gikai-jimu@ht.city.obama.fukui.jp

◆ホームページで会議録を掲載。

小浜市のホームページで、平成13年9月定例会からの会議録をご覧になれます。URLは <http://www.city.obama.fukui.jp> メニューの **議会・会議録** ボタンから。



開かれた議会へ

本市議会では、早くからCATVによる本会議中継を導入するなど、開かれた議会を目指し取り組んでおります。市役所五階の議会事務局で受付していただければ、本会議、委員会の傍聴ができます。議会では市民の皆様にとって重要な議論がされており、ぜひご意見・ご要望をお寄せください。